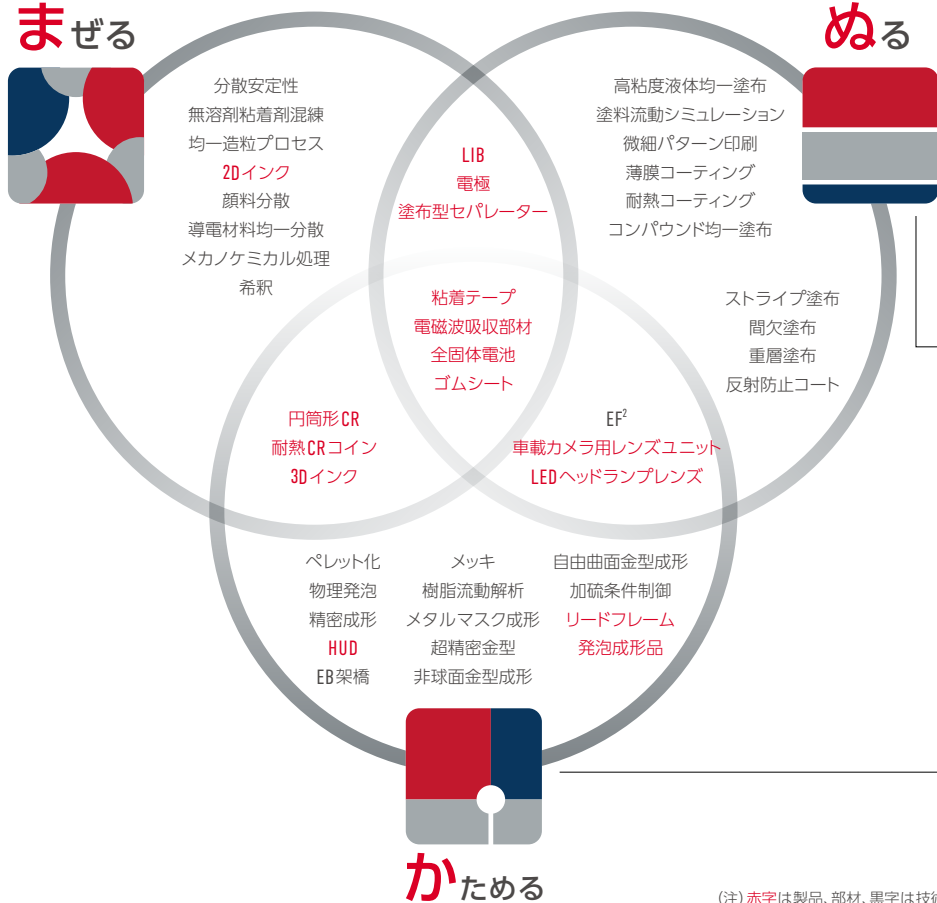


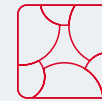
# 価値創造の源泉

マクセルは、独自の「アナログコア技術（混合分散、精密塗布、高精度成形）」でこれまでになかった製品やサービスを開発していきます。

 マクセル「アナログコア技術」解説動画リンク  
<https://www.maxell.co.jp/corporate/analogcore.html>



(注) 赤字は製品、部材、黒字は技術



## まぜる

混合分散

### 均一に混ぜ合わせる技術 どんな大きさ、硬さ、粘度でも

従来できなかった素材の組み合わせが可能

例えば

- 電磁波吸収部材
- 耐熱コイン形リチウム電池



## ぬる

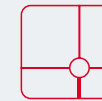
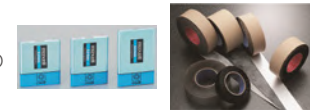
精密塗布

### 均一な厚さで塗る技術 数ミリからナノミリまで

素材を、広範囲に均一に塗ることで安定性を高めることが可能

例えば

- リチウムイオン電池の電極
- 粘着テープ



## かためる

高精度成形

### かたちづくりの技術 金型製造から配線、充填、架橋まで

精密な金型により高精度部品の量産が可能

例えば

- 車載カメラ用レンズユニット
- LEDヘッドランプレンズ



# アナログコア技術で価値を創り出すプロセス

マクセルグループは2021年に7つのマテリアリティ(重要課題)を定め、2022年からはそれぞれに具体的なゴールとKPIを設定して取り組んでいます。これらのマテリアリティに取り組むことで「資本の強化」「経営の進化」「成長事業の育成」を図り、経営の基本方針であるMVVSS(MISSION、VISION、VALUE、SPIRIT、SLOGAN)を実践します。

**MVVSS**

**VISION**  
マクセルが実現したい未来

独自のアナログコア技術で、社員・顧客・社会にとっての **Maximum Excellence** を創造する



# アナログコア技術で価値を創り出すプロセス

## 資本強化に向けた取り組み

マクセルグループの財務・非財務資本の現状に対し、目標をそれぞれ掲げて価値創出の実現をめざします。

7つのマテリアリティへの取り組みを通じて強化する財務・非財務資本

財務資本	製造資本	人的資本	知的資本	社会・関係資本	自然資本
<p>2024年3月期目標</p> <p>売上高 …………… <b>1,250</b>億円</p> <p>営業利益 …………… <b>125</b>億円</p> <p>営業利益率 …………… <b>10%</b></p> <p>ROIC …………… <b>7%</b>超</p>	<p><b>成長分野製品の量産化</b></p> <p>例)「全固体電池」</p> <p>2030年売上目標 … <b>300</b>億円</p> <p>生産設備投資第1弾 …………… 約<b>20</b>億円</p>	<p><b>研究開発人材、グローバルにマーケティングを展開できる人材を増員</b></p>	<p><b>特許出願は新事業を中心に加速予定</b></p> <p>特許資産(国内外) …………… <b>8,000</b>件規模を維持</p>	<p><b>各事業本部・各事業会社が顧客や取引先との共同開発などを通じて新たな価値を創出</b></p>	<p><b>環境活動による経済価値の創出</b></p> <p>2030年度CO<sub>2</sub>排出量(Scope1、2) …… 2013年度比<b>50%</b>削減へ</p> <p>2030年度再生可能エネルギー比率目標 …………… <b>10%</b></p>
<p>2022年3月期</p> <p>売上高 …………… <b>1,382</b>億円</p> <p>営業利益(率) <b>93</b>億円(6.8%)</p> <p>純損益* …………… <b>-37</b>億円</p> <p>ROIC …………… <b>5.5%</b></p> <p><small>*親会社株主に帰属する当期純損益</small></p>	<p>2022年3月期</p> <p>設備投資 …………… <b>40</b>億円</p> <p>減価償却費 …………… <b>45</b>億円</p> <p>全固体電池をはじめとする成長分野製品への投資を加速</p>	<p>2022年3月期</p> <p>グループ従業員数 <b>4,180</b>名</p> <p>女性採用比率 <b>50%</b>以上を目標に(継続)</p>	<p>2022年3月期</p> <p>研究開発費 …………… <b>64</b>億円</p> <p>アナログコア技術を中心に、新事業に必要な技術を組み入れる</p>	<p>2022年3月期</p> <p>子会社 …………… <b>20</b>社</p> <p>うち海外子会社 …… <b>16</b>社</p> <p>グループガバナンスによる各社の経営基盤強化と連携促進</p>	<p>2022年3月期</p> <p>CO<sub>2</sub>排出量(Scope1、2) …………… <b>89.7</b>kt-CO<sub>2</sub></p> <p>廃棄物総排出量 …………… <b>4,177</b>t</p> <p>環境課題に関する高次な貢献度合いを測る</p>
P.19-21参照	P.19-21参照	P.43-46参照	P.37参照	P.42参照	P.47-50参照